

第398回 産業事情検討会

日本の電池産業の戦略

—自動車電動化政策と車載電池の事業環境激変の中の日本の選択—

講師 佐藤登 氏

名古屋大学未来社会創造機構客員教授
エスベック株式会社上席顧問

司会 大塚壽広

(株)現代経営技術研究所 主任研究員

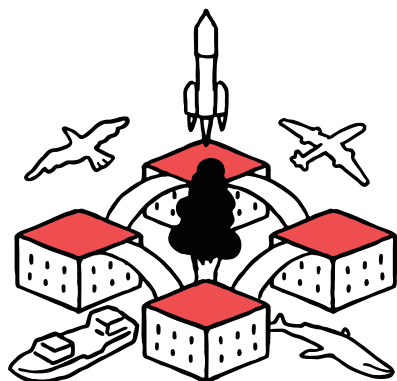
今回は佐藤登氏を講師にお招きします。氏はホンダ、サムスンSDIにおいて、それぞれチーフエンジニア、技術経営の立場から電池ビジネスの最前線に立ち、現在は、「蓄電池産業戦略推進会議」（経済産業省）有識者委員、また、「あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム」（愛知県）アドバイザリーボード委員として電池産業の今後の展開について提言を行い、その戦略形成に関わっています。

氏のお話をうかがい、岐路に立つ日本の電池産業の立ち位置を明確につかみ、日本の自動車産業、電池産業がグローバル競争環境を乗り越えていくための戦略について検討します。

2025年9月17日(水)

15:00~17:00

Zoom によるオンライン開催



- I. グローバル競争環境の中の日本電池の本当の立ち位置—BYD、CATL、テスラ等の動向と日本の自動車、電池メーカーのサプライチェーン競争力の検証
- II. 安全性という日本の武器を国際規格へ
- III. 全固体電池はゲームチェンジャーになり得るのか
- IV. 講師提言：日本の車載電池の戦略展開をこう進める
- V. 質疑応答

講師プロフィール 佐藤 登 氏

(さとうのぼる)

名古屋大学未来社会創造機構客員教授、エスベック株式会社上席顧問、イリソ電子工業株式会社取締役・監査等委員(社外)。蓄電池産業戦略推進会議(経済産業省)有識者委員、あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム(愛知県)アドバイザリーボード委員。1978年横浜国立大学大学院工学研究科修士課程修了。同年本田技研工業入社。自動車の腐食制御技術開発の研究成

果により1988年東京大学工学博士。1990年本田技術研究所基礎研究部門へ異動。1991年電気自動車用の電池研究開発部門を築く。チーフエンジニアであった2004年に韓国サムスンSDIに常務役員として移籍。中央研究所と経営戦略部門で技術経営を担当、2012年退社。論文、講演、コラム等約1400件。

主な著書に『危機を生き抜くリーダーシップ(国際文化会館新渡戸国際塾講義録3)』(共著、2013年、アイハウス・プレス)、『人材を育てるホンダ 競わせるサムスン』(2014年、日経BP)、「車載用リチウムイオン電池の高安全・評価技術」(共監修、2017年、シーエムシー出版)、「電池の覇者」(2020年日本経済新聞出版)など。[佐藤登 - Wikipedia](#)



参加申込みQRコード